

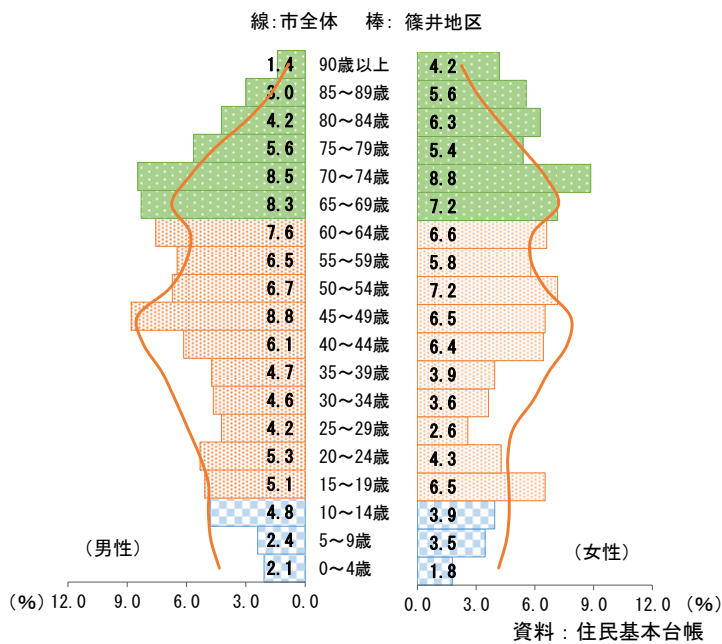
10 篠井地区

(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・ 総人口：2,448人（男性1,205人、女性1,243人）
 - ・ 世帯数：979世帯（1世帯当たり2.50人）
 - ・ 国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：1,209人
 - ・ 高齢化率：34.3%（市全体24.5%）
 - ・ 要介護認定率：18.6%（市全体15.6%）
- 資料：住民基本台帳人口（H30.9.30）等

図Ⅱ-1-1 性別・5歳階級別人口（H30.9.30）



図Ⅱ-1-2 年齢3区分別構成比（H30.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	9.2%	13.6%
15～64歳	56.5%	61.9%
65歳以上	34.3%	24.5%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-3 人口指数（H30.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	77.0	61.6
老年人口指数	60.7	40.1
年少人口指数	16.3	21.5
老年化指数	371.2	186.4

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-4 産業別就業人口構成比（H27）

	地区	市全体
第1次産業	20.2%	2.6%
第2次産業	28.7%	26.8%
第3次産業	51.1%	70.6%

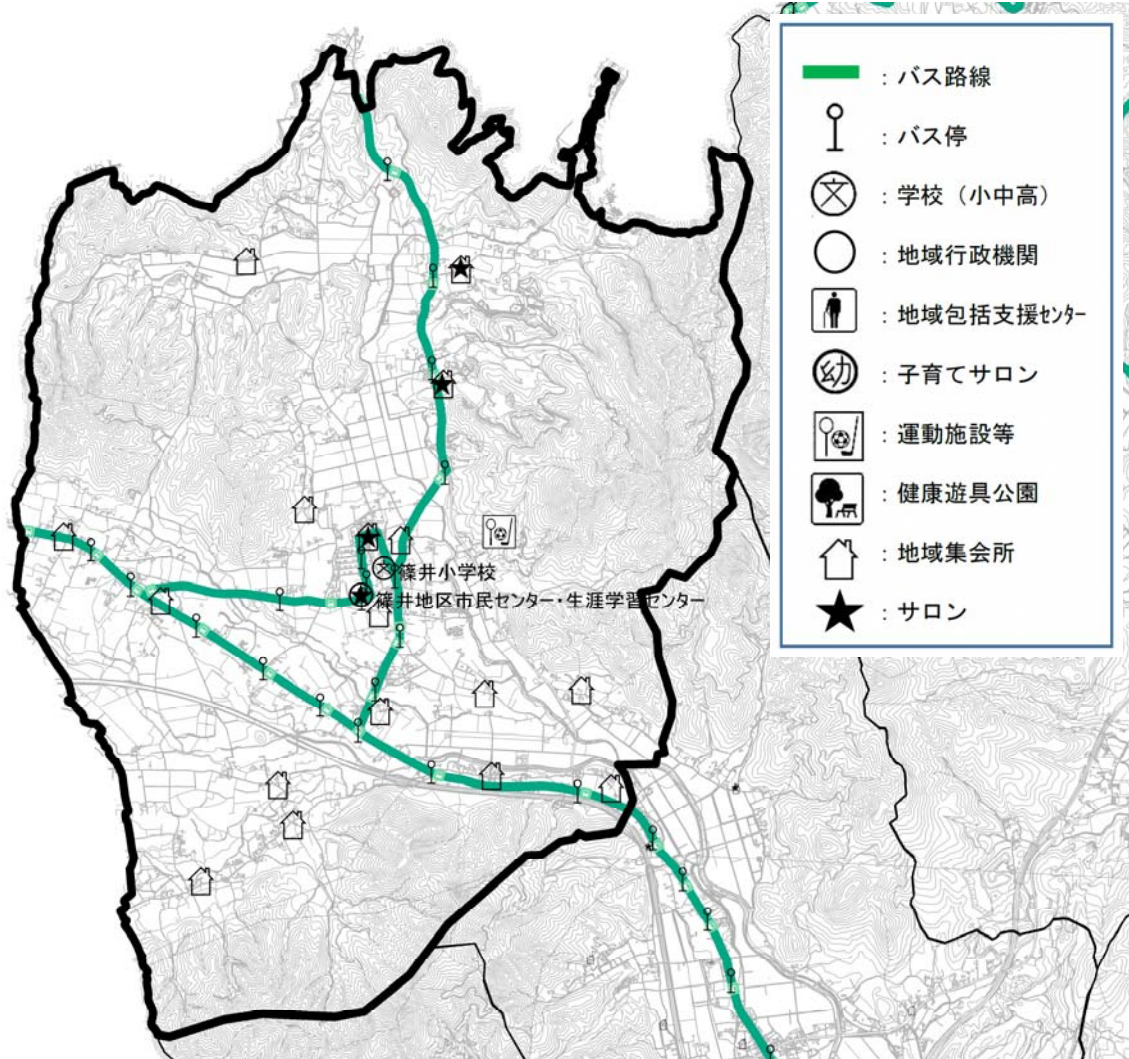
資料：平成27年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	18自治会
	加入世帯数	729世帯
安全・安心に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災（避難）訓練 ・ 環境点検 ・ 防犯パトロール ・ 不法投棄物回収・防止パトロール ・ 山林火災防止啓発パトロール 	
スポーツ行事	7月：夏季球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール） 9月：体育祭	
地区イベント	9月：敬老会 11月：篠井の秋まつり・文化祭 2月：ふれあいお楽しみ会（一人暮らし高齢者） 3月：篠井うどんまつり	

資料：令和元年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



地域資源			
バス路線（本数）	287 本	運動施設等	1 施設
バス停	19 箇所	健康遊具公園	0 箇所
駅	0 駅	地域集会所	17 箇所
学校（小中高）	1 校	ふれあい・いきいきサロン	4 箇所
地域行政機関等	1 施設	スーパー・ドラッグストア	0 店舗
地域包括支援センター	0 施設	病院・診療所	1 施設
子育てサロン	0 施設	歯科診療所	0 施設

【地域の質的状況】

- ・ 篠井地区は、宇都宮市の中央部から北西に約 15 km、栃木県のほぼ中央に位置する。地区内には、榛名山、男山、本山、飯盛山などの標高 300～500m程の山々が連なっており、地域内の山地と平地の割合はおおよそ 3 対 1 である。地区内には、「宇都宮市冒険活動センター」等の公的施設をはじめ、りんご、うどん等の観光農業も盛んで、多くの観光客でにぎわいをみせている。さらに「篠井ニュータウン」の造成に伴い、新しく転入した住民と昔からの地元住民とにより、新たなコミュニティ形成に取り組んでいる。
- ・ 自然豊かで安全な地域である反面、商業施設が少なく、人口減少・少子超高齢化に直面している地区でもある。地区内には地域内交通「篠井はるな号」が運行されており、住民の利便性を高めている。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ（平成 30 年度）等

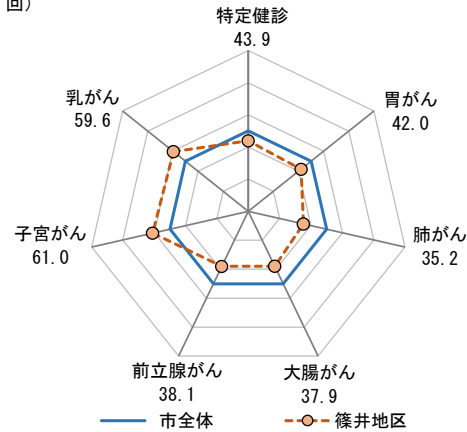
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況 (※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

(※①・③・④は市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

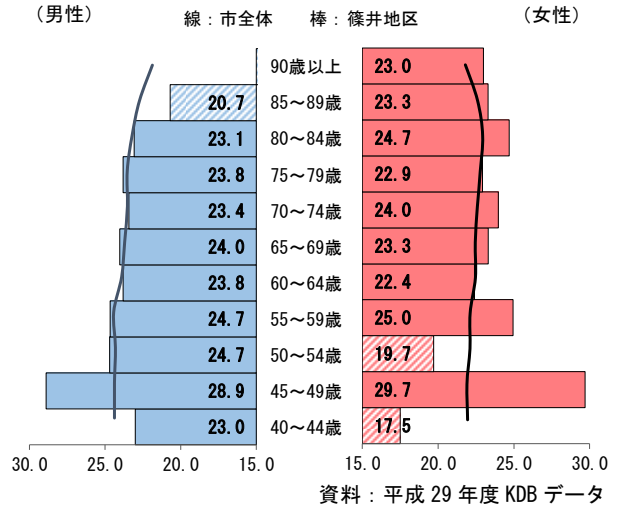
(対象) 特定健診：国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん：40歳以上
前立腺がん：50歳以上(男性のみ)
子宮がん：20歳以上(女性のみ)
乳がん：30歳以上(女性のみ)(40歳以上は2年に1回)



資料：平成29年度KDB等データ

② BMI (年齢層別平均値)

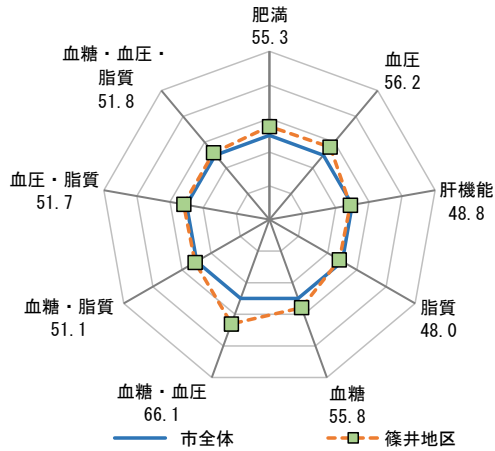
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

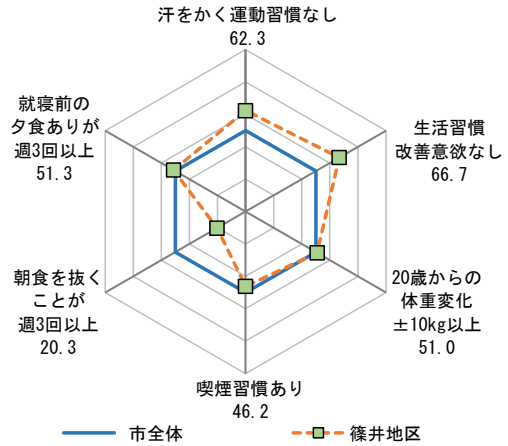
(対象) 国民健康保険被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

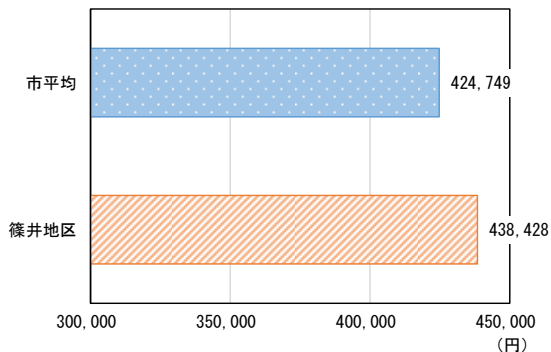


資料：平成29年度KDBデータ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

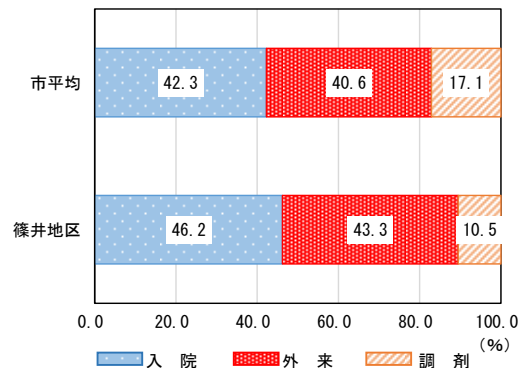
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 医療費の内訳（構成比）

	地区	市全体
糖尿病	3.67% (↓)	4.21%
高血圧症	4.75% (=)	4.34%
脂質異常症	3.16% (=)	3.65%
高尿酸血症	0.09% (=)	0.09%
脂肪肝	0.50% (=)	0.38%
動脈硬化症	0.22% (=)	0.33%
脳出血	0.16% (=)	0.40%
脳梗塞	1.94% (=)	1.71%

市全体との差が±0.5%以内：(=)，市全体との差が0.5%より高い(↑)，低い(↓)

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	地区	市全体
狭心症	1.60% (↓)	3.64%
心筋梗塞	0.83% (=)	1.02%
がん	11.60% (↑)	8.80%
筋・骨格	11.03% (↑)	10.49%
精神	3.38% (↑)	2.17%
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.31% (=)	0.25%
慢性腎不全	7.96% (=)	8.26%

資料：平成29年度KDBデータ

ウ 介護の状況

① 基本情報

(対象) 65歳以上

	地区	(市全体)
1号被保険者数	839人	
認定者数	156人	15.6%
認定率	18.6%	

【内訳】 人数 構成比

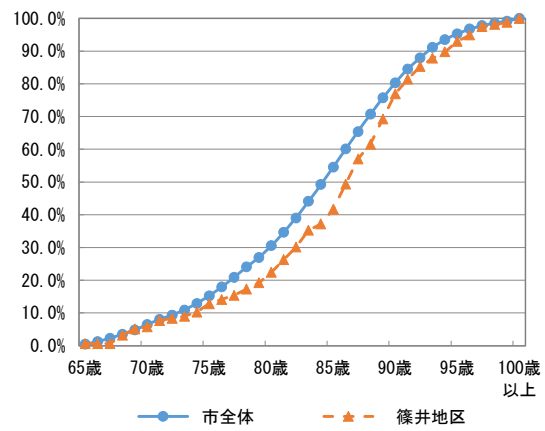
要支援	人数		構成比	市全体
	人数	構成比		
要支援	要支援1	7人	21.8% (↓)	30.9%
	要支援2	27人		
要介護	要介護1	14人	39.1% (↑)	34.1%
	要介護2	47人		
	要介護3	29人		
	要介護4	16人	39.1% (↑)	35.0%
	要介護5	16人		

市全体との差が±1.0%以内：(=)，市全体との差が1.0%より高い(↑)，低い(↓)

資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

② 年齢分布（累計）

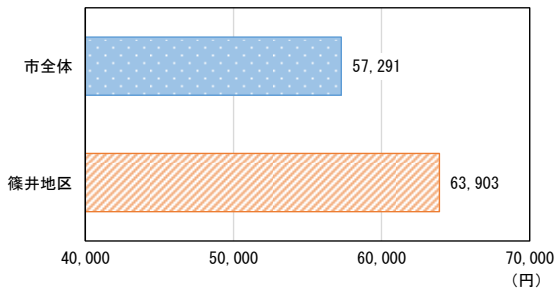
(対象) 65歳以上



資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

③ 1件当たり介護給付月額

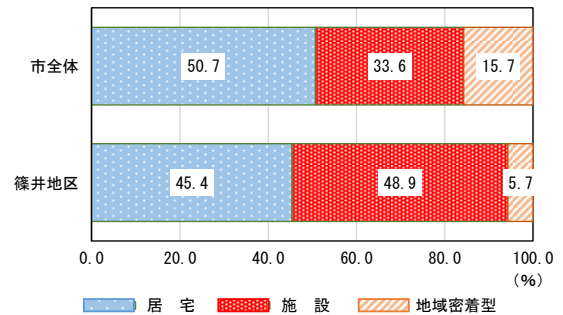
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ サービス別介護給付額の割合

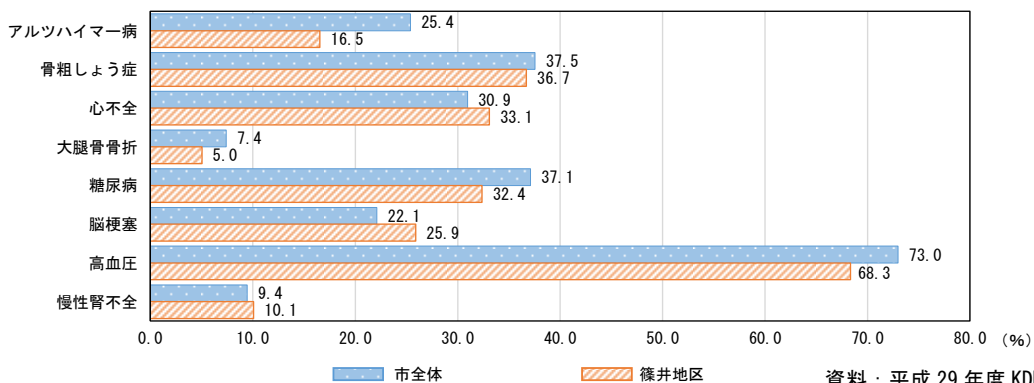
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

⑤ 認定者の有病率

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

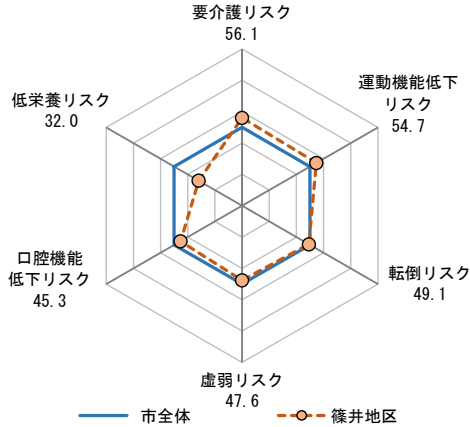


資料：平成29年度KDBデータ

(3) 生活習慣・社会参加

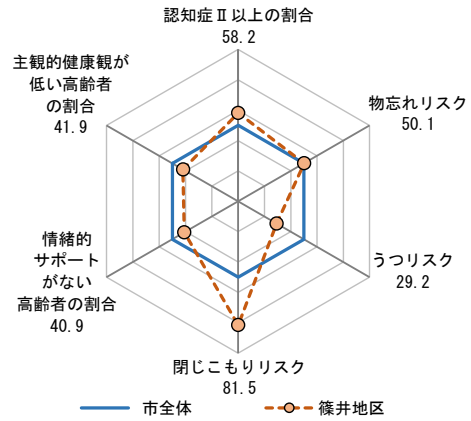
(※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護リスク (小さいほど良い)



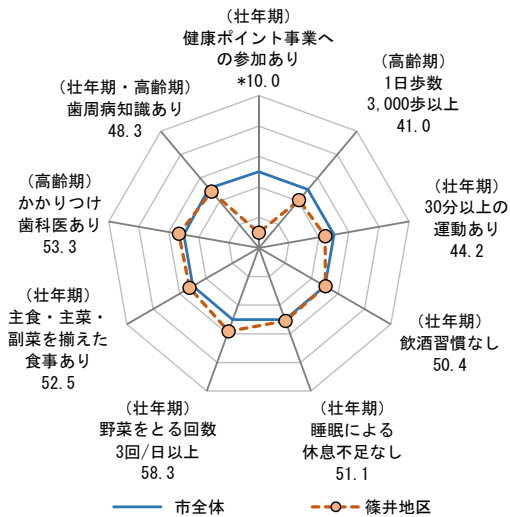
資料：令和元年健康意識アンケート調査（高齢期）

② 認知症リスク等 (小さいほど良い)



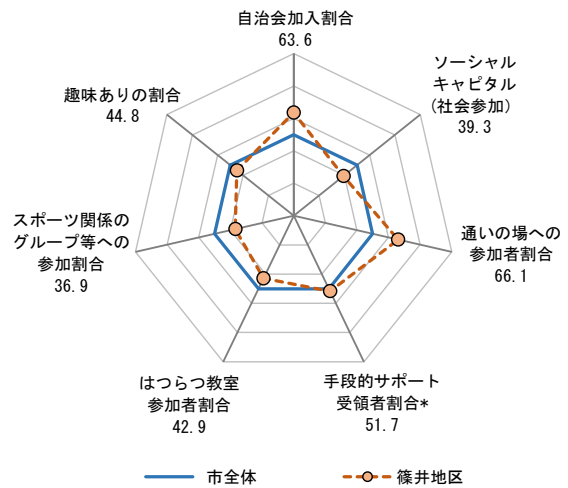
資料：令和元年健康意識アンケート調査（高齢期）・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査（高齢期）

手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

P. 14 参照

① 介護健康度

11.96 点/20 点
[19 位/39 地区]



② 生活習慣健康度

11.98 点/25 点
[35 位/39 地区]

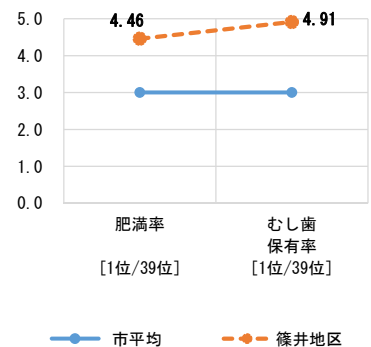
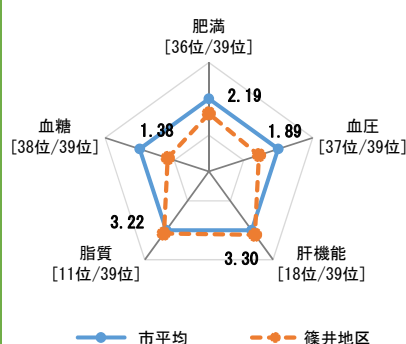
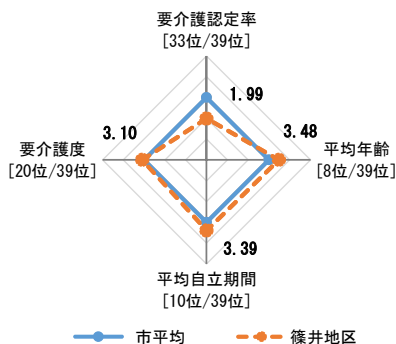


③ 子ども健康度

9.37 点/10 点
[1 位/39 地区]



[関連指標]



※各関連指標は全市を3点とした場合の値、市平均より健康度が高い：😊 低い：😞

(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べて高い。
- ・ 産業別就業人口構成比は、市全体に比べて「第1次産業」の占める割合が10倍程度と極めて高い。
- ・ スポーツ行事である夏季球技大会のほか、篠井の秋まつりや文化祭、篠井うどんまつりの開催など地域活動が盛んな地域である。
- ・ バス路線は少なく、公共交通利用状況は低い。また、運動施設は少なく、商店も少ない。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「子宮がん」「乳がん」は特に高く、「特定健診」とその他のがん検診が特に低い。
- ・ BMIは、男女ともに「45～49歳」が極めて高く、女性においては、55歳以上のほぼすべての年代において高い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血糖・血圧」が特に高く、「血圧」「血糖」「肥満」が高い。
- ・ 行動特性は、市全体に比べて「生活習慣改善意欲なし」「汗をかく運動習慣なし」は特に高く、「朝食を抜くことが週3回以上」が極めて低い。
- ・ 1人当たり年間医療費の内訳は、市全体に比べて「がん」が2ポイント以上高く、「筋・骨格」「精神」がやや高い。
- ・ 要介護認定率は、市全体に比べて高く、介護の基本情報は、約4割が要介護3以上となっている。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「要介護リスク」「運動機能低下リスク」がやや高く、「低栄養リスク」は特に低い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて「閉じこもりリスク」は極めて高く、「認知症Ⅱ以上の割合」は高い。「うつリスク」は極めて低く、「主観的健康観が低い高齢者の割合」「情緒的サポートがない高齢者の割合」は低い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて、「野菜を取る回数3回/日以上」は高く、「1日歩数3,000歩以上」「30分以上の運動あり」が低く、「健康ポイント事業への参加あり」が極めて低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「通いの場への参加者割合」「自治会加入割合」は特に高く、「スポーツ関係のグループ等への参加割合」「ソーシャルキャピタル（社会参加）」が特に低い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「要介護認定率」の点数は市平均より特に低く、それ以外の項目は同等である。
- ・ 生活習慣健康度は、「血糖」「血圧」の点数は市平均より特に低く、「肥満」が低い。
- ・ 子ども健康度は、「肥満率」「むし歯保有率」の点数は市平均と比べて特に高い。

イ 地域の課題

- ・ 篠井地区においては、生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血圧」「血糖」「肥満」が高く、行動特性は、「生活習慣改善意欲なし」「汗をかく運動習慣なし」が低い。生活習慣改善意欲なしと血糖リスク保有率、汗をかく運動習慣なしと肥満リスク保有率には相関があり、生活習慣病の発症予防が重要であることから、運動の重要性や正しい運動方法の情報提供を行うなど運動習慣の定着化を図る必要がある。
- ・ がん検診受診率は、市全体に比べて「乳がん」「子宮がん」以外のがん検診受診率は低く、がんに係る医療費は市全体に比べて高いことから、早期発見・早期治療につなげるため、がん検診受診の普及啓発を行い、検診受診率の向上を図る必要がある。
- ・ 要介護認定率は、市全体に比べて高いが、要介護者の「平均年齢」は高く、「平均自立期間」も長い。また、「閉じこもりリスク」は高いが「通いの場への参加者割合」等は高く、身近な場所でのコミュニティは形成されていることから、今後も身近な場所での社会参加を促すなど、介護予防の充実を図る必要がある。